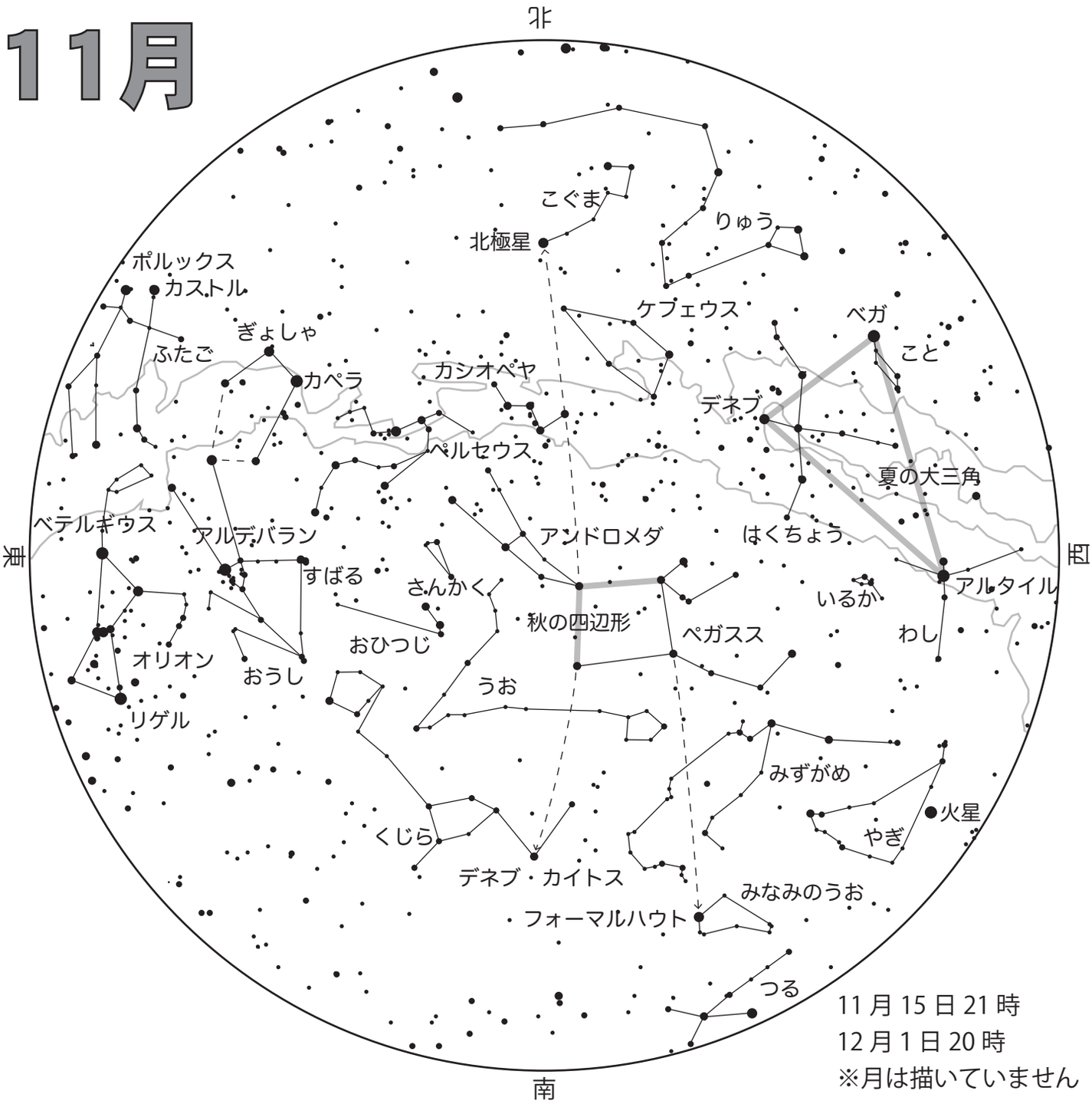
姫路の星空

11月

姫路科学館
Himeji City Science Museum



11月15日21時
12月1日20時
※月は描いていません

惑星

日没後間もなく、夕焼けの南西の空に見えるのは金星（宵の明星）です。南西側の開けた場所で日が暮れた方向より左側を探してみましょう。暗くなる頃には、南西の空に火星が見えています。火星は１１月中旬から１２月中旬にかけてやぎ座を移動中です。

星座の星（西の空に夏の星、東の空に秋の星）

西の空にまだ、夏の大三角が見えていますが、主役はやはり秋の星たちです。頭上には秋の四辺形（ペガスス座の胴体）が見え、その西側の線を南へ伸ばすとみなみのうお座のフォーマルハウト、東側の線を北に伸ばすとカシオペヤ座を経て北極星が見つかります。カシオペヤ座と北極星の間に見える五角形はケフェウス座です。東側の線を南に伸ばすとくじら座の尻尾の星デネブ・カイトスが見つかります。秋の四辺形からは、アンドロメダ座を経てペルセウス座も見つかります。ペガスス座の南側にはみずがめ座とうお座もならんでいます。

東の空には、ぎょしゃ座、おうし座に続いて、オリオン座やふたご座が見えるようになりました。星の移り変わりから季節を感じることもできますよ。